

教員採用試験受験における STEAM 教育の活用実践（受験報告）その 2

栗本 朱音*

1. 受験の概要

筆者が教員採用試験で合格した自治体は、北海道・山形県・高知県・広島県・北九州市・福岡県の 6 か所である。本稿では、そのうち STEAM Lab カリキュラム・マネジメント副部長としての活動実績や卒業研究「学習理解の深化に資するカリキュラム・マネジメントのあり方に関する実証的研究」、教育実習の研究授業などで取り組んだ内容をどのように受験時にアピールし、合格にたどり着けたのか、その体験についてまとめた。

2. 北海道

北海道では、エントリーシート（面接個票）の北海道の志望動機の項目に下記の内容を盛り込んだ。

塾講師での iPad と Apple Pencil による手書き機能を用いた英語教材作成などの経験をもとに、児童の知的好奇心を引き出し、北海道の「実践指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教員」として貢献したいと考え、志望した。

この志望動機は実際に面接時にも質問され、具体的な経験内容を説明する機会を得ることができた。

また、卒業研究の説明欄には下記の内容を記した。

「カリキュラム・マネジメント」をテーマに、教育課程内外の関わりを中心に、教科間・学年間の「横の連携」「縦の接続」や学校内外の協力のあり方などについて考察を深めた。

さらに、ボランティア等の資格経験を記載する欄には「STEAM Lab（カリキュラム・マネジメント部門）副部長」と記入し、成果をアピールした。

3. 山形県

山形県では、エントリーシート（面接個票）の自身の

*大阪大谷大学開沼ゼミ 4 年生

経験のアピール欄に下記の項目を盛り込んだ。

教育実習では、児童と気さくに話せる雰囲気や知的好奇心を引き出す授業づくりに役立てるとともに、指導教員や先輩の先生方からのご指導やご好意を遠慮なく受け止め、年上の方との関わりに慎重だった自分を変えることができた。塾講師のアルバイトでは、タブレット端末の手書き機能を用いて、子どもや保護者の方が成長を振り返りできるポートフォリオやオリジナル教材を作った。

さらに、資料 1 のように STEAM 教育やカリキュラム・マネジメントの従事経験をアピールするとともに、絵画や水泳・英語学習など横断的学習の基盤となる多様な技能についても言及している。

資料 1 山形県教員採用試験受験時の推薦書

受験者氏名	栗本 朱音	
所 属 等	大阪大谷大学 教育学部	※学校、職場等の名称を記入ください。
在籍・在職期間	平成30年4月 ~ 令和3年4月（見込）	※受験者が在籍していた期間を記入ください。

上記の人物は、次のようなことから山形県公立学校教員としてふさわしいと考えます。

- ① 児童が話しやすい雰囲気重視して個性に合わせた物腰や振舞いを心掛けるとともに、塾講師として担当児の適性に応じた教材や学習計画づくりに熱心に関わるなど、教育への関心が高い。
- ② キャンプ・ボランティアではリーダー役としてアクティブに勤めて児童同士の関係形成に尽力するたくましさ備える一方で、正義感をもって他者や社会の目を意識した慎重な判断・行動がとれる。
- ③ 小学校教員に向けて授業づくりや専門性の獲得に積極的に向き合い、本学 STEAM Lab 副部長として教科等横断的な学習内容の検討を進め、卒業研究はカリキュラム・マネジメントをテーマに教育実習の研究授業での実践に活かす工夫を行った。他方、中学高校と器楽・合唱に打ち込むとともに絵画や水泳・英語学習にも意欲的で、幅広い知識技能を意欲した経験を重ねてきた。
- ④ 初めての環境でも物怖じせずに向き合える性格で一期一会の交友範囲を広げる一方で、家族や地域の縁を大事にしながら相手への信頼やお世話になった礼を尽くす大切さを体現している。

4. 広島県

広島県では、エントリーシート（面接個票）の自身の経験のアピール欄に下記の項目を盛り込んだ。

教育実習では 5 年生を担当し、研究授業では指導教員の優れた実践をもとに、社会科の「米づくり」を理科の「植物の生長」と関連付ける「カリキュラム・マネジメント」やジグソー学習によるグループワークを活用し、

理解の深化をはかった。

個別塾講師のアルバイトでは、主に小学生から高校生までの英語科を担当し、文法のテキストや問題集に整理された事項を担当生徒の理解度や課題に合わせて整理し直し、iPad と Apple Pencil を用いた手書き機能を活用してオリジナルシートを作成するなど、効果的に指導する工夫を行った。

5. 高知県

高知県では、エントリーシート（面接個票）の高知県の志望動機の項目に下記の内容を盛り込んだ。

私は高知県のデジタル社会に向けた教育の推進や楽しくわかりやすい授業づくりを通して、主体的に課題解決できる児童を育てたいと考え、志望した。

教育実習では、持ち前の既存のアイデアにひと手間加えるアレンジ力で、指導教員の優れた実践を参考に、社会科の米づくりと理科の植物の生長を繋げるカリキュラム・マネジメントを行った。

また、塾講師のアルバイトでは、大学のゼミで学んだタブレット端末の手書き機能を用いた教材づくりや、ポートフォリオによる振り返りを行った。

6. 北九州市

北九州市では、模擬授業で「おさめる」の漢字を題材とした授業が指定された。学校のテストで「おさめる」が出題された前提下で、人によって解答が異なることを導入で取り入れるとともに、収める・納めるなどの漢字の生活場面における活用状況と関連付けながら授業を行った。その後の集団討論の開始前に模擬授業の感想を話す時間があり、カリキュラム・マネジメントを意識した工夫について言及した。

集団討論では、新学習指導要領を踏まえた学力向上にどう取り組むかについて、20分程度の討論を行った。現状分析の段階では教育実習で取り組んだジグソー学習について触れ、卒業論文でのカリキュラム・マネジメントをこれから取り入れる工夫として主張した。司会役による想定外の進行の影響でまとめが十分にできずに戸惑った面もあったが、その中でも自らの経験や考えをアピールする上で STEAM が効果的であった。

7. 福岡県

福岡県では、エントリーシート（面接個票）の自身の経験のアピール欄に下記の項目を盛り込んだ。

塾講師のアルバイトでは、タブレット端末の手書き機能を活用した ICT 活用で、生徒や保護者が成長を振り返りできるポートフォリオや目標に応じたオリジナル教材づくりに努めた。

教育実習の研究授業では、指導教員の優れた実践を参考に、社会科の「米づくり」と理科の「植物の生長」を関連付ける「カリキュラム・マネジメント」やジグソー学習を活用した。

また模擬授業では、第2学年学級活動の「話を聞かない児童に対してどう指導するか」をテーマに、福岡県の「きた褒めメソッド」を意識して授業した。特に日常生活の場面に即した指導を心掛け、当事者意識を持たせる工夫に努めた。

さらに面接では、人権について小学校で学んだことや、これからの授業づくりなどについて質問を受け、第6学年の歴史と繋げて説明した。

8. おわりに

いずれの自治体においても、教育実習での授業実践や卒業研究の取り組み内容、塾講師としてのアルバイトにおける経験といった中心的な活動内容（エピソード）を基盤に、個票に指定された字数制限に合わせた記述の工夫を行う上で、STEAM 教育やカリキュラム・マネジメントの発想が役立っていることがわかる。

多くの自治体を受験するにあたっては戦略的に動く必要がある。本報告で取り上げた自治体を受験するにあたっては、20～30程度の自治体に出願し、その上で指定された日程との重複を調整するといったプロセスがあった。当然、その多くにエントリーシートを書いて提出する必要があるため、結果的に記述内容も表現もより洗練されていった。筆者は結果として6か所から合格通知をいただき、第一希望である福岡県の教員として4月から勤務予定である。学生4年間で自らの目標の達成を勝ち取るために、本報告を参考にぜひ早期から努力を重ねていただきたい。

(2021年2月17日 受理)